

## なないろの会 報告

平成26年5月31日（土）に、第5回なないろの会が、前橋赤十字病院博愛館にて開催されました。今年度は、17家族(大人31名 子供24名) 合計55名の参加がありました。例年同様、家族で参加される方が多く、会場は終始明るく和やかな雰囲気に包まれていました。

会は、前田副院長兼看護部長の挨拶でスタートし、口唇口蓋裂センターのような様々な医療スタッフが連携をとって治療を進めるチーム医療の利点や、新病院の移転建築についてなどについてお話がありました。

そして、鈴木医事課長による職員紹介の後、支援内容についての発表を行いました。支援内容の発表では、言語聴覚士小原先生から成長・発達に合わせた言語のサポートについて、耳鼻科二宮先生からはチュービングを中心とした耳鼻科手術やサポートについて、さらに形成外科村松先生から地域連携クリニカルパスによる支援体制についてや手術後の経過について、そして村松先生が参加されたオペレーションスマイルの活動報告についてお話してくださいました。

その後は、参加者が4つのグループに分かれ、「患者・家族の話し合い」として、それぞれフリートークで情報交換をしました。成長発達に伴う心配や悩み、日常生活における注意について、耳鼻科や歯科でのフォロー受診について、手術についてなど、どのグループも活発な意見交換ができました。最後に、話し合いの中から出た質問や疑問などに医師や関係スタッフが回答し、グループトークを終了しました。

会場のスペースには、歯科による口腔ケア用品の展示と歯科衛生士による説明、栄養課による食事の展示があり、いずれも好評でした。

なないろの会に毎年、数回にわたり参加されているリピーター参加者も複数おり、患者・家族同士のネットワーク作りにも役立っているようです。今後も、参加者同士や治療に携わる専門スタッフとの情報交換・情報共有により、日常生活や治療に関する安心・安全のヒントや問題解決の糸口となる、参加される皆様にとって役立つ会として継続して参りたいと思っております。

ご参加くださいました皆様に感謝を申し上げます。



記載 柴崎 広美  
H26.7.4